

吉野ヶ里こども園の教育・保育とは！？

－9月、運動遊びでおもいきり体を動かす！－

園長 山崎立哉

新型コロナウイルス感染症の猛威が止まりません。うんどうかい、コロナウイルス感染症が少しでも減少し落ち着いて、保護者の方が参加出来るようにとの思いで10月30日に変更しました。皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

9月に入り、残暑厳しい日が続くと思いますが、少しずつ秋の気配を感じ、過ごしやすい日が多くなってきます。子ども達も秋の清々しい天気の中戸外で遊ぶことが多くなり、園庭には元気に遊ぶ子ども達の声が響き渡ります。

テレビであるスポーツクラブの少年サッカー教室で、サッカーを教える前に鬼ごっこをしている話をされていました。それは、今の子どもは体幹が弱く、運動能力が低い為、まずスポーツをする前に運動能力を高める一つの方法として、鬼ごっこを取り入れているそうです。鬼ごっこは逃げる、追いかけるの繰り返しで常に走り回らないといけません。そして、捕まらないようにするために、急に右や左に向きを変えたり、止まって逆方向に向きを変えたりします。これは、まさしくサッカーに必要な動きです。

今の子ども達は、テレビやゲームをすることや、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、室内で過ごすことが多くなり、戸外遊びで走り回る機会が少なくなっています。よって運動不足の子ども達が多く、サッカーなどスポーツを習う前に、鬼ごっこのような運動遊びをしているということでした。

本園では、子ども達は戸外遊びで、かくれんぼ、鬼ごっこ、色付き鬼、しっぽとり等いろいろな遊びを子どもたち自身で自由に遊んでいます。この自由に遊んでいる中で、運動能力が自然と身につく、繰り返し遊んでいることで高まっていきます。また、一緒に遊ぶ友達との会話の中でコミュニケーション能力も高まり、人間関係も深まっていきます。

幼児期の運動能力は、まず、こども園の園庭で友達と思いきり遊ぶことが重要です。

これから秋の清々しい季節を迎え、子ども達には園庭で、鬼ごっこなどの運動遊びでおもいきり体を動かすことをしてほしいと願います。運動能力は子ども達の日々の戸外遊びの中で自然に身につく高まっていくのです。